

2017年5月26日

日清製粉グループ 本年も「三鷹の森ジブリ美術館」の活動全般に協賛 ～スタジオジブリ作品の中で記憶に残る“食事シーン”を解説する新企画展示がスタート～

日清製粉グループ（株式会社日清製粉グループ本社 社長：見目 信樹）は、公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団が運営する「三鷹の森ジブリ美術館」（館長：中島清文、入場予約制）に対して、継続的に協賛しています。

このたび、5月27日（土）より、同美術館内の企画展示室にて、新企画展示「食べるを描く。」がスタートします。

■新企画展示「食べるを描く。」がスタート

本年の企画展示は、スタジオジブリ作品の中で多くの人の記憶に残る“食事のシーン”（「千と千尋の神隠し」で、千尋がハクにもらった“おにぎり”を涙を流しながら食べるシーンなど）を取り上げます。数秒間の食事シーンのために描かれた原画や絵コンテ・背景画などのアニメーション制作資料とともに、それらの食事シーンを表現するために用いられた工夫や作画の技術・作り手の意図などを紹介いたします。

更に「となりのトトロ」に登場するサツキとメイの家の台所と、「天空の城ラピュタ」のタイガーマス号のキッチンが実物大で制作され、サツキやシータが調理していた映画の世界を体験し、お楽しみいただけます。

■当社グループと「三鷹の森ジブリ美術館」

当社グループは、2008年3月よりCSR活動の一環として、世界の良質なアニメーション作品を広く日本の人々に紹介していく「三鷹の森ジブリ美術館ライブラリー」事業への継続的な協賛を行ってきました。また、2011年6月からは特定の作品や作家、スタジオなどに焦点を当てたテーマで毎年企画される「三鷹の森ジブリ美術館企画展示」に特別協賛してきました。2014年5月からは、より発展的な取組みとして「三鷹の森ジブリ美術館」の活動全般に対する協賛をしています。日清製粉グループは、この協賛を通じてアニメーション文化普及の一助となり、子どもたちの笑顔を大きくむお手伝いをしていきたいと考えています。



2017年5月27日（土）～2018年5月（予定）

主催：公益財団法人アニメーション文化財団 / 協賛：日清製粉グループ 丸紅新電力 / 特別協力：スタジオジブリ

© Studio Ghibli © Museo d'Arte Ghibli

■「三鷹の森ジブリ美術館」概要

所在地：東京都三鷹市下連雀1-1-83（都立井の頭恩賜公園西園内）

入館料：大人・大学生 1,000円 高校・中学生 700円

小学生 400円 幼児（4歳以上）100円 4歳未満 無料

※入場は日時指定の予約制

WEBサイト：<http://www.ghibli-museum.jp/>

この件に関する報道関係者の皆様のお問い合わせ先

株式会社日清製粉グループ本社 総務本部 広報部 担当：松本・寺岡

電話：03-5282-6650

メール：mailbox@mail.nisshin.com